



2021年夏・65号

信条・世に媚びず・枠にとらわれず  
・言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進  
携帯 090-3168-1063  
FAX 072-863-0605  
〒110-0015  
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>  
E-mail : [info@kawaraban.ne.jp](mailto:info@kawaraban.ne.jp)

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・  
自分のことを書いています。

コロナ戦 いま世界が変わる  
吉田 進…2

下町の法律事務所「親孝行始末記」  
栗原 周成…3

68年前の浅間山米軍演習地化計画を  
阻止した若者たち  
信州のロザリアン…4

反権力の方々にももの申したい  
三田 栄考…5

守るべきは9条の精神 森 治郎…6

新型コロナ感染の最前線  
江東市民連合 岡田 光司…7

ドイツ原発事情 在ドイツ 後藤 昌三…8

強制収容所問題 ウイグル人女性が告発  
映画監督 増山 麗奈…9

『岩名雅記第3 舞踏論集孤独なからだ』  
編集部・市川編纂…10

愚かなり、哀れなり、秀吉は偉人に非ず  
原野 通有…11

千年続く職業 仏師 松本 明観…12

逆境は厄を払うチャンス  
画柳会代表 中田 恭子…13

渋沢栄一とその時代 阿部 敏夫…14

糞害に憤慨する 野口 文子…15

余録／編集後記……………15

「空襲法案」下町の代議士として  
超党派で奔走  
衆議院議員 柿沢 未途…16



奈良県十津川の谷瀬の吊り橋は、日本で一、二を争う。風で揺らぎ人が歩けば更に揺らぐ。地元ではバイクで走る猛者もいるとか。揺らげば人々は悲鳴を上げるが、その恐怖感が人を誘う。コロナ戦時代。一瞬、その日常を忘れるため、吊り橋を渡るべし

# コロナ戦 中国VS日米 いま世界が変わる

## 「自分だけ」「カネだけ」はもう通用しない

連日テレビはコロナ感染・死者の人数をグラフで示し、廃れていく街並みや「商売上がったりや」と嘆く人々を写し出す。百年に1度あるか無しかのコロナ戦時下、遂に強力な変異コロナの第4波が来襲し、大阪を始め各地で3回目の「緊急事態」が発令された。「食いだお

れ大阪」では、毎日1000人を超える感染者が出た。怖いのは、20代の若者をピークに子どもへの感染が急増し、患者受け入れの病院がパンク状態で、救急車は患者を乗せたまま立ち往生している有様だ。

小池都知事は、コロナ戦は「武器なき闘い」とワクワクン接種を待ち望む。しかし、世界ではワクワクン確保競争が始まった。富ある国の買いだめで、世界人口の13%の国や地域がワクワクン全供給量の51%を確保していること。グローバル化時代、一部の国でコロナを退治しても、他国でも退治できなければどうにもならないのに。

日本ではやっと医療関係や高齢者へワクワクン接種が始まった。いつものことだが、日銀は金融緩和で株価を3万円超に押し上げた。富裕層はホクホクだが、反面、コロナ禍で庶民は泣く。



赤信号みんなでガヤガヤなお怖い



人が消えた新世界のジャンジャン横丁

どうした中国。経済(カネ)が人も国も変えたのか。1949年毛沢東が「中華人民共和国」成立を宣言。実に眩しく、期待した。だが、中国が経済大国となるにつれ期待はずれで覇権主義の国となる。まず、日本共産党の志位委員長の主張を紹介してみよう(「文芸春秋」五月号)。

——武器使用などを認める

『海警法』は、中国周辺の広い海域を「中国のものだ」と一括して、強制措置の権限を与えている。中国が「これは中国の管轄海域だ」と言えばそうなり、海警法でなんでもできる。08年には尖閣諸島の日本領域に侵入。次に南シナ海、西沙諸島へと続く。そして、ハーグ常設仲裁裁判所の「国際法違反と

いう判決も「紙屑だ」と言っただけ無視した。中国は世界第2位の経済大国になったが、大国主義・覇権主義の国となった。香港やウイグル自治区での人権抑圧は、社会主義とは無縁で、台湾への軍事的解決に断固反対する。中国には「国際法を守れ」と、国際世論で包囲するのが効果的——という。

飲食・小売店の倒産、休業は5万件。非正規労働者等の首切りは10万人超で、20代までの若年層や子どもの自殺や貧困が老々介護や孤独死を増やしている。菅首相は、「自助、共助、公助」と言うが、「まず自助」を「まず公助」と言い変えねば。

日米共同声明が発表された。その内容は、「日本の共同防衛」「台湾との平和的解決」「香港、ウイグルの人権抑圧反対」「温暖化対策」等、多岐にわたるが、それらを「内政干渉」と怒る中国だ。中国に対し日米は、正に「冷戦態勢」と言える。米国の核の傘に入った日本は、「商売は中国」でと、「二兎追う者は二兎を獲る」となるかどうか。日米共同声明は、対中国へ「冷戦」を避け「大競争時代」と称しているがその意味するところは深い。

(吉田 進)

## 下町の法律事務所

電話 03-6659-3113

墨田区綿糸町



下町中央区月島のもんじや街

江戸川区で小中学校時代を、墨田区で高校時代を過ごし、墨田区錦糸町で弁護士生活を送って40年余。下町一筋の人生を送って来ました。私の育ったところの下町は、垢ぬけせず、お金持ちは少なかつたけれども、ちょっとした貴い物があると隣近所で分け合うような、気取りのない情の深い町でした。

それでも私の事務所は、昔からの下町のDNAを持った依頼者が少なくありませんので、下町の法律事務所と名付けました。町医者のように、ありとあらゆる雑多な悩み事が持ち込まれ、堂々たるシニアになった今も、依頼者とともに悩み、事案の解決に向けて格闘する毎日です。

## 親孝行始末記



弁護士バッジのひまわりは自由と正義を表す

弁護士

葉原くわばら

周成

Aさんの勤める小さな鉄鋼商社に税務調査が入ることにになりました。経理を一手に引き受けていたAさんは、会社の帳簿を説明すべき立場にありましたが、ところが、税務調査の当日失踪をしてしまい、税務署は実のある調査ができませんでした。

Aさんはなぜ失踪したのか？しばらくして自宅に戻ったAさんが、奥さんに付き添

われて私の法律事務所に相談に来ました。会社のお金一億数千万を横領していたので、税務調査が入ればその事実が発覚するのは確実と考え、身を隠したというのです。小さな鉄鋼商社でこれだけの金額が横領されたとなると、会社の存亡にかかわってきます。社長さんは怒るといふよりも茫然自失の態であったとのこと。帳簿操作がバレないように、誰よりも早く出社し、

退社はいつ最後だったAさん。そんなAさんの姿を信頼しきっていた社長の心中は、察するに余りあります。さて、どうすべきか？その前に、これほどの多額の横領金を一体何に使ったのかが問題です。問い詰めると、なんとソープラントとサイドビジネスにすべてを使っており、吉原周辺で札びらを切りまくっていたと言っています。

Aさん夫婦の話では、夫妻の資産は自宅を処分してお金を造ったとしても精々2000万円位にしかならず、損害賠償額には到底足りません。会社に示談交渉を申し入れると、社長さんは、「Aの帳簿操作が巧妙だったのか、横領の件は税務調査でも発覚しなかった。下手にAを横領で告訴して、その事実が新聞でも載ったら、それが原因で倒産しかねない」と、前向きに対応しようとの苦渋の決断をしてくれました。

月の割賦金額は、20万円から13万円に、13万円から8万円に、8万円から5万円にと減額していき、1500万円まで支払った20数年後の時点で、ほぼ一人で返済を続けてきた自営業の長男が自己破産をせざるを得なくなりまして。この際、仏様のような件の社長の寛容さのお陰もあって、会社に残額の免除をしてもらおうとの再和解が成立して、本件は終了となりました。

この顛末、美談になり損ねた親孝行物語との評価もあり得るかもしれません。

しかし、親の不始末の責めを子供たちが背負うという形は、封建制下の連座制を想起させます。子どもたちが強く希望したことだったにせよ、このような顛末に手を貸してしまつて良かったのだろうか？横領事件が発覚して相当長い歳月が流れていますが、このような思いは今も消えていません。

ただ、ご長男が、「割賦金の返済と破産との直接の関係はない。自分としてはこれでよかつた」と言ってくれたことが、救いではあります。

和解が成立して1年。Aさんは肺がんであつたけなく亡くなつてしまいました。こうなると分かつていたのなら、息子さんたちを連帯保証人にすべきではなかったのではないか？との思いが胸をよぎりました。

和解後、息子さんたちの毎

# 68年前の浅間山米軍演習地化 計画を阻止した若者たち

## 信州のロザリアン



浅間山を背景にした荒井輝允さんと著書

1950～53年の朝鮮戦争（北朝鮮と韓国、休戦継続中）でアメリカ軍は山岳戦で苦戦を強いられ、その訓練場所として長野県の浅間山と妙義山を最適地と目論みました。1953年、当時の軽井沢町長と地元有力者たちが、戦後の軽井沢の経済活性化の為に、町民に内緒で議会にも

「軽井沢を青年が守った」（2014年かもがわ出版）を、友人からお借りして読み、荒井さんにお話を伺ってきました。浅間山のおもとの大日向や三石は、満蒙開拓団として中国東北部に渡った多くの人々が、中国人の土地を安く手に入れて開墾して生活し、敗戦で帰国しても出身地には住む

場所もなく棄民となり、国から与えられた山林に入植し、クワ1本で壮絶な努力をして開墾した畑や牧草地で生活を始めた土地です。しかし米軍基地演習地の候補として、軽井沢町が米軍に駐留してお金を落としてもらいたい、自ら誘致という暴挙に出たことにより、日本の軍国主義に騙されたと感じていた地元の青年たちが、即座に反対運動を立ち上げたそうです。富士山麓の米軍演習地を視察に行った仲間たちの写真スライドでの報告会で、銃撃や戦車での目を覆う自然破壊と、兵士相手の女性の犠牲の悲しさに、青年たちは『もう騙されることはイヤだ!!』『未来は自分たちで切り開く!!』と、労働組合や婦人会などと共に、講演会や勉強会で学び、町民大会を開き、署名活動を行いながら、長野県全域への爆発的な反対運動として展開していったそうです。

場所もなく棄民となり、国から与えられた山林に入植し、クワ1本で壮絶な努力をして開墾した畑や牧草地で生活を始めた土地です。しかし米軍基地演習地の候補として、軽井沢町が米軍に駐留してお金を落としてもらいたい、自ら誘致という暴挙に出たことにより、日本の軍国主義に騙されたと感じていた地元の青年たちが、即座に反対運動を立ち上げたそうです。富士山麓の米軍演習地を視察に行った仲間たちの写真スライドでの報告会で、銃撃や戦車での目を覆う自然破壊と、兵士相手の女性の犠牲の悲しさに、青年たちは『もう騙されることはイヤだ!!』『未来は自分たちで切り開く!!』と、労働組合や婦人会などと共に、講演会や勉強会で学び、町民大会を開き、署名活動を行いながら、長野県全域への爆発的な反対運動として展開していったそうです。



わが家の上空に飛来するオスプレイ

15年に  
は安倍晋  
三首相  
（岸首相  
の孫）  
が、旧安

になるという結果も出たので、米軍や日本政府の強固な圧力に屈せず一致団結した闘争に、米軍も3ヶ月で諦め、奇跡的な勝利に終わり、生きる為の土地を死守したそうです。  
15年に及ぶ無謀なアジア太平洋戦争の敗戦で、1951年にサンフランシスコ平和条約締結と一緒に、吉田茂首相は国民には知らせず1人で日米安全保障条約に調印、これはアメリカの一方的な日本支配の内容です。1960年には東条内閣の閣僚であった岸信介首相（A戦犯）が、安保改定でアメリカが日本を守るという条件を入れて、米軍基地の恒久化を強行採決しました。これは10年後に締結国の通告があれば1年後に終了するという内容でしたが、その権利を行使する事もなく、むしろ2015年に安倍晋三首相（岸首相の孫）が、旧安

器搭載の軍用機や船の立ち入りは、事前協議なしでOKという内容の恐ろしい改悪をしました。日本各地で欠陥オスプレイの飛行という現実!!  
コロナ禍の2020年12月8日に、浅間山のおもとの我が家の上空を、米軍のオスプレイ2機が低空飛行で頭上を旋回しながら、群馬と新潟の基地を往復し、家の中でもすごい爆音でしたから、飛び出して撮影しました。12月8日は日本がアメリカの真珠湾に奇襲攻撃をした狂った日で、世界の戦争反対や人種差別反対の活動をしていたジョン・レノンが暗殺された日でもあり、悲しい歴史の象徴の日です。最近の米中の覇権争いや、北朝鮮のミサイル発射訓練など、日本近海でのきな臭さが忍び寄り、米軍基地のある沖縄は今まで以上の犠牲の島になるかと危惧します。日本政府はアメリカの兵器購入（今年の防衛費は289億円増の5兆3422億円で過去最高）で武装するより、世界各国との外交力を鍛える事での解決を目指し、これ以上の犠牲を沖縄には負わせるべきではありません!!

# 反権力の方々にも申したい

## 自民党が強いのか？ 野党が弱いのか？ 国民の意識が低いからか？

東京 三田 栄考

おかしいですよ、平和を願う、格差拡大に反対し、弱い者・大衆に味方した政治活動をしているのに何故運動が広がらないのか？ 戦争法案も特定秘密法案も消費税も沖繩辺野古基地も学術会議任命拒否も政権党の意向通りに進んでいる。我々の運動は連戦連敗を続けています。

でも憲法改正も、原発も、カジノも進んでないとの意見もあるが、それは違う。我々の運動の成果というよりも世論というか、政権側に無理があるからだ。このままではいずれやられる。モリカケ、桜、黒川検事総長、菅総理の息子なども週刊誌の方が遙かに有効だった。残念ながら我々の運動は殆ど政治に影響を与えることはない。政権党はやろうと思えば、多少手

間暇がかかるが、何でも思い通りにしてきた。それはなぜか？ 答えは簡単、政権を取っているからだ。国会で多数を占めているからだ。



維新の大阪都構想は失敗して橋下徹、松井一郎両看板は引退に追い込まれる羽目に



れいわ新選組は障がい者を国会議員に、常に奇策を唱え続けられるか

天皇制が確立して以来日本にも支配層が多少の形を変えこすれ綿々と続いてきた。明治以降もその流れが続き、戦後は保守の民主党・自由党そして今の自民党に引き継がれている。人の集まる処、お金の動く処など全てで保守的な現体制を良しとする考えになっている。

私たちは99%の国民の利益を代表しているのに

だのに全野党の支持率は合計しても10%少した。理由は簡単、運動が下手だからだと言うとお叱りを受けるかな。でも、あれだけ「アベの政治は許さない」とのタグを作りながら史上最長の政権を許してしまった。私たちの運動のやり方が、感覚が、思考が、時代に合わなくなっているからだ。それを多くの人が分かっているながらマツチさせていないし、努力も足りない。私には運動を実現させることよりも、自分が運動に参加していること、自己満足に浸っているように見える。おっと、また皆さんから叱られるかな。本来、革新とは現状に満足せずにもっと良い社会をめざしているはずだが、運動と行動は十年一日同じパターンの繰り返しだ。署名運動や集会やデモのエネルギーは他に活用できないものだろうか？ これらで事態を変えたり動かしたりした

ことは労力の割に小さいのではないか？ 他方、政権党は時代に適した政策を講じるから革新的思考（現状に適合）に転化している。

### 維新・都民ファースト・新選組の手法を参考に

一人の橋下徹が維新の党を創り、今でも大阪は維新の天下だ。「大阪都構想」は府民の東京への対抗心を満足させたからだ。小池百合子は自民党に弓を引いて都民ファースト党都議は自民党を抜いて第一党だ。れいわ新選組も山本太郎氏ら少数者のわずかな運動で参議院比例区で障がい者の2人も当選させた。それは老舗の社民党の1人の倍の勢力だ。

千葉の熊谷俊人新知事も良い例だ。森田健作3期の自民系知事の後を受けて、自民支持候補と1対1で勝負しダブルどころかトリプル以上の当選を果したのは3月21日だ。明治以来の保守支配の基盤を最大限に駆使して自民党の全力をもってしても簡単に負けてしまったのだ。つまり如何に自民党が真からの支持を受けていないかの証明だ。人気

のある野党の中心の核が育てば一挙に逆転も可能だろう。年寄りばかりの運動と嘆くのならば若者を挑発する運動を試みては如何？ 年金制度よりもいかに若者法案をアピールするかだ。悔しいことに国民は飽きっぽいから絶えず新鮮な話題・魅力を発掘しなければいけない。国や経済を動かしているのは上場企業だから、経済団体との恒常的な交流も国民に安心感を与えるためにも必要だ。広範な保守的環境に打ち勝つには、自分たちの仲間内にももろらずどこにも入って行き、浸透し、発言する勇氣が必要だ。仲間外の場面にも意思表示をしなければならぬ。

そして哀しいかな民主主義とは選挙主義と同意語だ。国民の幸せのためには全ての力を政権奪取にそそぐべきだ。議会制民主主義とは政党政治だから政党を強くするしかあるまい。国民の政党アレルギーを解消させることだ。小異を捨てて大同に付くくらいでは及ばない。大異を捨てて政権を取るくらいの覚悟がいる。



「よりよい憲法」をめざしたとき、「改憲」阻止は強い力を持つことができる。安倍改憲提案があった2017年の日本国憲法公布の日（11月3日）国会前で筆者写す

## 守るべきは

# 9条の精神

## 総選挙にむけて

### 護憲政党は

### 戦略を早く

#### 〈探見編集発行人 森 治郎〉

本誌の昨年62号で、「護憲のための〈改憲〉提案―専守防衛の自衛隊明記を」という私の年来の考えを紹介させていただきました。

それは戦争と武力行使を放棄し、陸海空などの戦力と交戦権を否定した憲法9条第1項、第2項に次のような第3項を加えるというものでした。

「前2項制定後の国際環境と前2項の趣旨に鑑み、他国・組織からの攻撃に対して自国と自国民を守るために必要最小限の組織と装備はこれを保持する。核・生物・毒物兵器などの大量破壊兵器の開発並びに使用は禁止する。」

その組織は、他国領での戦闘や戦争に加わってはならない。国連の平和維持活動への

参加は衆参両院それぞれの総議席の3分の2以上の賛成を経て法律にもとづいて行う。

その組織は、国内の災害救助・復旧活動への参加も本来業務とする。国際連合など確立した国際機関あるいは他国から、災害救助・復旧支援要請があった場合は、法律にもとづいて行う」

憲法条文は、非常に簡潔に書かれているため、多くの条文はかなり幅のある「解釈」によって運用されてきました。9条はその最たるものだったかもしれません。その「解釈」が大きな抵抗を受けないように少しづつ少しづつ、いわばミリ単位で拡大され、1950年に警察予備隊として誕生し、2年後に「憲法で禁止さ

れてきた戦力とは近代戦争遂行能力で、この組織はそのような戦力をもっていないから戦力でない」としてスタートした自衛隊は、その拡大解釈を重ねて核兵器を持たない「軍隊」としては世界で5指に入るまでに「成長」しました。2015年の安倍政権による安保法制の制定は、ミリ単位の拡大解釈をセンチ単位にすることに可能になりました。それによつた一つ、功績があるとするれば、その「拡大解釈」がだれの目にもはっきりと分かり、通常の「解釈」では許されないものが、強権を以てすれば可能になるということを私たちに思い知らせたということかもしれません。

「そうしたことを許さないためには、憲法に込められた精神を明確化・明文化する必要がある」。私はかなり前からそんなことを考えていました。その考えが上記の「改憲案」としてはつきり形を取ったのは、17年5月の「安倍改憲提案」、いわばメートル単位となった9条改憲案をどう跳ね返すか、を追求したときでした。

私の「改憲案」にはもう一

つ大きな理由があります。それは憲法条文と現実の乖離です。9条を素直に読めば、集団的自衛権まで具備した自衛隊は憲法違反であり、解消されるべきはずのものです。しかし現実には、この国は自衛権については国外にまで及ぼし、その実行組織は肥大するばかりです。

私たち日本国民は、長い間そうした状態を許してきました。そのことの影響は、私たちの安全保障の問題にとどまりません。日本国憲法の象徴ともいえる条項がないがしろにされてきたということは、憲法全体への軽視を生んできたともいえるのです。

それではそうした条文と現実の乖離をどうするのか。自衛隊はその質と量についてもかく、存在自体については国民は理解している（どころか賛成しているという世論調査結果が出ています）と言えます。その点から廃止には無理があります。また自衛権については各国固有の「権利」として認められるべきである、という意見にもかなりの説得力があります。そうした意見に頷く人たちは

は「改憲派」なのでしょか。さまざまな世論調査を見てみると、その人たちも一方では、日本が戦いを起こしたり巻き込まれることがないことを心から願っているのです。彼らを「護憲派」の陣営に引き入れることができるかどうかで9条の運命は決まります。その「戦い」のためには現在の条文に固執するのではなく、現憲法で真に守るべきはその精神にあることを確認しておく必要があります。その精神とは、「他国の領土、領海、領空をけつして侵さない」ということです。

安倍退陣とコロナ禍で緩やかになっていた憲法をめぐる動きが再び激しくなってきました。政府・自民党はコロナ対策の無策・誤策さえ「憲法に規定がないため」として「改正」の突破口にしようとしています。10月までには必ず総選挙があります。「護憲」を名乗る政党は今から9条の精神を守り抜く覚悟と論理を固めておかなければなりません。日本が戦いのない世界建設の先頭に立つことを願う国民には、それを促す権利と義務があるのだと思います。

『探見』は2011年4月に、朝日新聞社OBの故酒井憲一さんが編集人、森治郎さんが発行人となって創刊しました。「ゆっくり歩いて、見て、聞いて、（許されれば）触って、読んで、知る。そしてそのことを楽しむ」という探見精神（2人の造語です）の紹介と推進を目的としています。

# 新型コロナウイルス感染症の最前線 保健所と医療現場から悲痛な声

岡田 光司  
（市民と政治をつなぐ江東区市民連合事務局長）

## 東京江東区でパネルディスカッション

市民と政治をつなぐ江東区市民連合（略称・江東区市民連合）は、2017年10月、民進党が希望の党に合流し、やがて共闘の立場を明確にした立憲民主党が誕生するという激流のなか、江東区内の安保法制反対、共謀罪NOの共闘を受け継ぎ、市民、団体有志など個人が集まって発足した。共同代表は、右崎正博氏（憲法学者）、宇都宮健児氏（日弁連元会長）、古今亭菊千代氏（落語家、芸人9条の会世話人）の3氏。安保法制の廃止、立憲主義の回復、平和主義・民主主義、基本的人権の尊重と個人の尊厳を

理念とする政治の実現をめざす。来たる総選挙に向けて、江東区での市民と野党の共闘を広げるために努力し、9条改憲NO、江東区に青海地区へのIRカジノ誘致は許さない課題など市民運動にとりくんでいる。国政だけの運動では政治は変わらないと、都政と江東区政を住民本位に改革する運動にも力を入れ、2019年3月に発足した江東区政を考える会に団体参加している。

2月11日、江東区政を考える会が「新型コロナウイルス対策の実情と急がれる改善策」をテーマにパネルディスカッションを開催したが、第3波における医療崩壊の生々しい実態をつきつけるものであった。

江東区の保健師は、年末年始には陽性になっても入院は

全くできず、ホテル療養ができたのも1日ゼロか一人、保健師が「入院に努力しますので、それまで我慢して」とい



まとめのあいさつをする共同代表の元日弁連会長の宇都宮健児

うのが精一杯のかけ言葉だと苦しさを語った。都の入院調整に頼っても入院できない事態に、保健所が区内や東部地域の病院を全部当たっても入院できたのは1人とか3人。「入院の優先順位一番は誰」という状況で「こないのちの選別をしないのか」と問題を投げかけた。区の感染経路不明は今年2月が6割近い。今の体制では調査を縮小せざるを得ないという。

民間病院のコロナ専用病棟に勤めた看護師は、夜勤専門で5カ月、一人で防護服を着てコロナ患者を診た。一般病

棟に移った時、患者が手術後に急変、PCR検査で陽性と判明したとたん、担当医ともども「2週間病院に来ないで」と言い渡される。看護師はホテルで6日間、息をひそめるように過ごし、ホテル代は自腹だ。夏のボーナスは「でっかいスイカ」、冬のボーナスは「上等な愛媛みかん」と餅」が買える程度で、看護師のモチベーションが上がるわけはなく、何人もやめていったと語る。政府の医療機関への支援の実態がここにある。

「都立墨東病院を直営で存続させる会」事務局長は、都立広尾病院や公社病院の豊島病院・荏原病院がコロナ専用病院として受け入れ努力をし、墨東病院もコロナ患者以外に、未熟児母子医療、難病、障がい者医療など、都立病院だからこそやれると力説。独立行政法人化されたら、都立病院に必要な予算を「赤字」と捉えているので、採算性が重視され、これらの医療は安定的に提供されなくなるかと警鐘を打った。

あぜ上三和子都議は、東京五輪・パラリンピックは、医療逼迫、ワクチンによる集団

免疫は間に合わない、選挙会もできないでアスリートファーストなのか、大会での医療スタッフ確保は困難ではないかと、開会の中止を迫ったが、都はまともな答弁がでないかと報告。21年度予算で、コロナ感染対策でかけがえのない役割を發揮している都立病院の看護師を増やすどころか逆に減員する冷たい予算を厳しく批判した。

宇都宮健児・江東区政を考える会共同代表はまとめの発言で、都立病院等の独法化、全国で440の公的病院・公立病院の統廃合計画、保健所が区内では1991年の71カ所から今は31カ所に減らされたこと、ふれ、「日本の医療行政に大変問題があった。その反省なしに従来の政策が続けられようとしているのは問題だ」と強調。いのちや暮らし、権利を守る区政を実現する運動を広げようと呼びかけた。

菅政権の新自由主義の路線は、コロナ感染拡大に無為無策で、国民に「自粛」レベルの対策しか口にできない。菅政治を変えるには野党に託すしか道は開けないと痛感した。

# ドイツ原発事情

在デュッセルドルフ

後藤 昌三

昔、多摩川沿いから日吉の慶応大学に通学していた頃、多摩川にある堰堤で河の水が落下してそこから洗剤の泡が発生して、氷河のように流れているのを見て、単にすごいな〜と思っていました。その後、環境問題が議論されるようになり、美濃部都知事の時に排気排水処理がかなり整備されるようになり泡の流れは減っていききました。

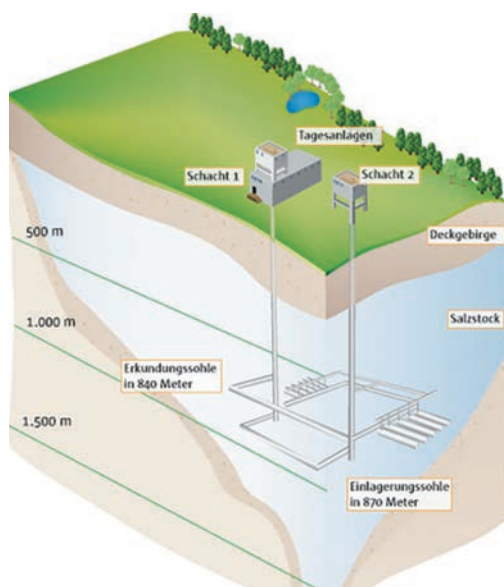
大学を卒業して一九七〇年に仕事でドイツに赴任してきて、ライン河に排水する生活用水にたいする対処の仕方が徹底しているのに感心させられました。考えてみるとライン河はスイスに端を発してドイツ、オランダ経由北海に注ぎます。ドナウ河は南西ドイツから東に走り十か国を経由して黒海に注ぎます。ですから日本で言われる「三尺流れば清水になる」の感覚で汚染水を流すわけに行きません。このような風土のなかで原

発のことはどう処理しているのかが興味があります。

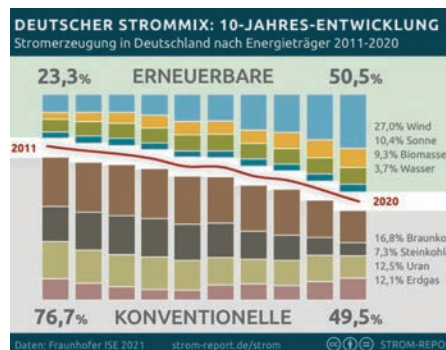
今から十年前に福島原発事故が発生した頃はドイツの発電は褐炭を主体に原発も含めた燃焼資源がメインでした。

今日もまだ採掘中の褐炭の現場がケルンとアーヘンの間にあります。遥か見通せる限り露天掘りで、十階建てのビルぐらいの大きさの巨大なシャベルがデイジーの様に周りについた採掘機が回転して掘り出しています。森林保護運動のデモが激しく行われていました。

下右図は二〇一一年から去年までのドイツに於ける発電



深さ870mの地下に埋蔵サイト



エネルギー源のシェア推移を示しています。福島原発事故が発生して、ほどなく物理学博士のメルケル首相はドイツは原発エネルギーから脱却する旨を宣言しました。それ以後急速に再生可能エネルギーのシェアが拡大し、半分まで来しました。特に風力発電が

増え北海をはじめ内陸にも発電塔が林立しています。バイオマスは主に乳牛等の糞尿からの燃焼ガスです。ドイツ政府は二〇二二年末には原発を全て停止するという方針を立て有力団体を動員して廃炉作業をすすめています。

ドイツ全国の原発の現状ですが、現在まだ稼働しているのは八炉です。まず燃焼済み燃料を取り出し保管するわけですが、この廃棄というか安置する場所が一番大きいのはゴアレーベンという田舎です。ここには昔採掘した大きな塩鉱があります。これを利用して放射能棒を安置します。八七〇mの深さにあります(上図)。

停止原発から取り出した燃料棒は保護樽に入れられ列車でゴアレーベンまで運ばれます。核反対の人々がデモします。そして大きな塩鉱内のホールに自動安置されます。現在原発停止、廃炉作業は大型の発電関係会社が数社名乗り出て準備から最後に平地にするまで三〇年のスパンの計画をたてて活動中です。日本は地震、津波があり、おまけに海辺に気休めです



核燃料を自動安置



廃棄用核燃料に群がる反対する人々

くつていますから廃炉が必要になります。もつと大変な一大事業になるでしょう。しかしその原資をどう工面するのか? 方法は再生可能エネルギーで巨額な資金を獲得しなくてはなりません。





日本ウイグル連盟 トウル・ムハメット会長と筆者

もし、貴方が着ているセーターが、ウイグル人たちを虐待・殺害しながら奴隷労働によってつくられたものだとしたら、貴方はそのセーターを着けますか？

シャープやユニクロなど日本の11社をふくむ世界82社のサプライチェーンで、ウイグル人強制労働が組み込まれている可能性がある」と豪政府組織によって指摘されました。ユニクロの決算会見では「新疆綿」シリーズへの質問が相次ぎました。

アップル社が中小を含むサプライチェーンのすべてで自

## ウイグル人女性が告発 中国強制収容所での 「地獄」の体験

映画監督・画家 増山 麗奈

然エネルギーを工場電気に取り組むと発表したことも記憶に新しいですが、環境配慮だけではなく、商品をお客様の手に届けるすべての工程で人権にも配慮することが、今後企業が生き延びていく必須課題となってきました。

中国の新疆ウイグル自治区では400万人のウイグル人たちが、中国共産党によって強制収容所に入れられ、虐待や暴行、殺害を行われてい

なってきました。今年になって米国務長官がウイグル問題を「ジェノサイド」と表したことが、国際世論を変えました。EUやカナダが、中国共産党に対して経済制裁を発動。EUが中国に対して経済制裁を発動したのは、1989年の天安門の時に武器輸出を規制した時以来。大きな世界的変化が起きています。

BBCでは中国共産党によって行われた3度にわたる性的暴行を告発したトウルウイグル人元収容者で看護婦の女性、トウルスナイ・ズヤウ



会見ではリアルタイムでアメリカに在住するウイグル人、元収容者の女性や在英ウイグル人男性と中継を繋げた

ル連盟主催の国会議員会館での記者会見を手伝い、配信・撮影を弊社で担当しました。

そこで聞いたトウルスナイ・ズヤウさんのお話は驚くべき内容でした。中国共産党はこのような強制収容を「思想教育」といっていますが、もともとトウルスナイさんは政治的なことに興味のない、普通の女性でした。

ウイグル人であることだけで、トウルスナイさんは、収容されました。排泄物が同じ部屋にあるような劣悪な環境に身を置き、3度にわたって中国共産党員によって性的暴行を受けました。収容所では、栄養剤という謎の薬を摂取するように言われ、それを飲むと、数か月で生理が止まったそうです。トウルスナイさんだけではなく収容所のすべての女性たちがその薬を飲み、同じように生理が止まったそうです。収容後も皮膚の中を無数の虫が這っているような不快感にさいなまれ、体調不良に悩み続けたそうです。

記者会見である記者がトウルスナイさんに質問をしましたが「こういった形で声を上げることでアメリカにいても身の危険を感じることはありませんか？」

ますか」。トウルスナイさんは、じっくり考えて間をおいてから、こう答えました。

「私は、収容所で地獄という言葉が生ぬるいような絶望を体験しました。私は生きるために、声を上げなければならなかったのです。私は一人の女性として、強制収容所で起きていることを許すことができませぬ。皆さんも人間であれば、この問題を放置できないはずですよ」。トウルスナイさんたちは、2022年北京オリンピックの開催をボイコットするようにIOCに働きかけるとのこと。この動きはもう止まりませぬ。

私も、自分が着る衣服が、トウルスナイさんたちを傷つけているとしたら、それを黙認することは、人としてできません。右翼だとか左翼だとか取引先の顔色をうかがうとか、関係ありません！新しい地球、経済、社会が人として当たり前のことを言う、一人一人の無数の行動によってつくられようとしています。私たち消費者も、企業経営者も、もうウイグル問題に対して無関心ではいけないのです。それができない個人・団体が淘汰されていく時代の岐路に私たちは立っています。

# 『岩名雅記第3 舞踏論集 孤独なからだ』より



「僕の好きな言葉で言えば見世物になる覚悟が必要です。自分を癒すことが半分、他人を癒したり喜ばせたり幸いにも感動させることが半分という訳です」

編集部・市川編纂

舞踏家・映画監督岩名雅記が2020年11月11日にフランスで、75歳で逝去した。残り少ない寿命を宣告された生前に自ら編集した『岩名雅記第3 舞踏論集 孤独なからだ』が、遺稿として2021年2月27日に出版された。

▲まえがきから▼ 舞踏を志す人へ：

○「からだ／おどり／舞踏」に接触しようとする若い方々が「こういう考え方／感じ方もあるのだなあ」と一つの座標として感じ取っていただければ至上の喜びである。

▲本文から▼ 舞踏とは：

○ヴィム・ヴェンダース「Pina / ピナ・バウシュ踊り続けるいのち」と云う映画を観ました。優れた振り付け、鍛えられたダンサーたち。それまで舞台に封印されていた踊りのからだを社会の亀裂の中に投げ込んだという

意味で、ピナ・バウシュは土方巽と双壁をなす20世紀最大の舞踏家であったと言われるのは間違いないでしょう。けれどどうしても気になるのは、ダンサーの

「からだ達」が制度的／文化的匂いを拭いきれないでいることです。どんなに水しぶきを浴びても、どんなに泥まみれになっても、その「からだ達は」公共もしくは多数派が許したお墨付きのからだ、いわば文化の中のみからだです。

○大切な事を2つお話ししたいと思います。一つ目。私たちは伝統舞踊や古典舞踊の踊り手とは違っている意味で素人です。或る意味では決められた芸術的な規範や技術のレベルという枠から眺めてという意味です。いわゆるプロ

の踊り手は一日でも稽古を怠ればたちまちその規範やレベルの枠から滑り落ちるようになりますから稽古を欠かせないわけですね。無論私たちが稽古は大切ですが定められた規範や技術的レベルがあるわけでないでその意味では素人でいいわけです。では私たちの踊りが簡単にできるかというところ逆です。大変難しいわけですね。何故難しいかというところ根拠が技術やその水準にあるのではなく、自分の内部にあるからです。さて二つ目ですがよく自分を癒すた

めに踊りたいという人がいます。出発はそれで構わないと思うのですが最後までそれは問題があります。踊りというものは1人ではできません。必ず見守ってくれる人、立ち会ってくれる人が必要です。僕の好きな言葉で言えば見世物になる覚悟が必要で

ら、才能のある人 (talent)、突出した存在感 (presence) を示せる人、直感 (intuition) で踊れる人が稀にいる。一方で多くの人は学習するしかない。学習によって進歩 (development)、改良 (improvement)、修正 (modification) は出来るけど、それは一種の概念でしかなくて、絶対的な高見に行ける人はごくわずか。それでも俺たちは好きで踊っている。そんなある日、自分を打ち捨て、裏切り、諦め、忘れた頃、ひよつとして何かやってくるかも知れない。そこに一縷の望みを託して今日も踊る。

○僕にとってはただ自分が考える舞踏を愚直に追求してきたことだけが唯一無二のヨスガなのだ。敢えていえば自分固有のオリジナルなメソッドを持っていること、内的な時空を含有する「風景 (inner landscapes)」を踊れるかどうかということ、そして近年では殆どの人が忘れ去ってしまった「悪意 (dark intention)」を踊れるかという、この三つだけはいづも自分の頭にある。

○私とてはただ自分分が考える舞踏を愚直に追求してきたことだけが唯一無二のヨスガなのだ。敢えていえば自分固有のオリジナルなメソッドを持っていること、内的な時空を含有する「風景 (inner landscapes)」を踊れるかどうかということ、そして近年では殆どの人が忘れ去ってしまった「悪意 (dark intention)」を踊れるかという、この三つだけはいづも自分の頭にある。

岩名雅記：1945年東京生まれ、演劇活動を経て30歳でソロ舞踏活動を始める。全裸・不動・垂立による、自称「名付けようのない身体行為」のパフォーマンスを独自の境地で展開する。1995年に拠点をフランス南ノルマンディに求めて、欧州各地で活躍する。2006年からは自費映画製作を手掛け5作目の「ニオンのオルゴール」の撮影途中、昨年11月11日自宅で表現者としての人生を閉じる。当誌には「cmジャーニー」を31回に渡って連載した。妻も舞踏家の若松萌野。死に臨んで遺稿集「孤独なからだ」の編纂を仕上げる。2500円で当誌にて取り扱い中。

# 愚かなり、哀れなり、偉人に非ず 独裁英雄 秀吉のなれの果て

大阪中央区 原野 通有

私の妻子が韓国旅行を終えて「まあ、通訳の人は豊臣秀吉を侵略者だ、殺人者だと言わく先々で非難するのには驚いたわ」と嘆いた。そりゃそうだ、朝鮮民族にとって秀吉は侵略戦争を仕掛けて両国の多くの人命を犠牲にした。全く意味もない戦争だった。在日韓国人に「秀吉が創建した京都の方広寺の門前に、首の代



老人が何の手下も持たず、秀吉の権力者。醍醐寺の花見。傘の下に何の手下も持たず、秀吉の権力者。醍醐寺の花見。傘の下に何の手下も持たず、秀吉の権力者。醍醐寺の花見。傘の下に何の手下も持たず、秀吉の権力者。

わりに持ち帰った朝鮮人犠牲者の耳塚がある」と話すと「よく知ってますね。現地にはハンゲル説明文もあって、韓国人ツアーも行くよ」と納得

気に応えてくれた。朝鮮の役は日中両国民ばかりでなく豊臣政権にも大きな影を造った。世界の数ある英雄でも庶民・農民の子が天下を取った例は無かるう。秀吉の努力・工夫は天下取りまでは称賛に値しよう。が、それ以降は世にも愚かな情けない人物に陥ってしまった。

茶道という日本文化がある。

その創始者は言うまでもなく千利休である。秀吉は彼の弟子であった。秀吉好みの黄金の茶室に黒い

茶碗で迎えたからだろうか。大徳寺の山門金毛閣が造営された天正17年に利休の木像を具えた。足下に秀吉が潜らされて怒ったのが天正19年だ。

興福寺の多門院日記には「権勢を振るい新たな茶道具に法外な値で利益をあげた売僧の



五輪の山頂の方阿弥陀山東山京都の墓に参る人は少ない

極み」とある。はてまた娘のお吟様を妾に献上するのを拒否したからか独裁者秀吉に切腹させられた。当時はマスコミが不在だった故か、何故か第一人者の死に政権の公式コメントはない。

そして、京都の三条大橋の西側の高瀬川に面する木屋町通りにひっそりとした瑞泉寺に閑白豊臣秀次の墓がある。

秀吉は実姉（とも・日秀）の長男で1592年に24歳の近江八幡城主豊臣秀次に二代目豊臣関白を譲った。53歳で生まれた実子鶴丸が数え年3歳で亡くなったので諦めたからだ。が、翌年に秀頼が生まれて秀吉の心が変わったのが秀次の悲劇だ。高野山に追われて自刃して果てた。悲劇は続く。常軌を逸した秀吉は高野

山から引き取った秀次の首を前にして三条河原で眷族もごとく処刑された。公達が

5名、妻妾が34名打ち首。彼女らの墓は秀次の首石棺の左右に並ぶ。三条大橋を渡るなら是非お参りしてあげて下さい。以外にも家臣、大名、公家、町人など

で連座の罪を被った者は数知れず。敢えて筆者は苦言を呈す。秀次は縁、年齢、地位を鑑みたら秀吉の後継者として最高だった。その者を一族を殺害するとは秀吉は秀次以上の狂気と言わざるを得ない。

秀次から秀頼が成人したあかつきにバトンタッチする制度がベストだったのに。老いぼれ秀吉にはその策が見えなかった。愚かなり秀吉。

《露と落ち 露と消えにし我が身かな 浪速のことも夢のまた夢》は有名な秀吉の時世の句だと言われる。筆者はこれは後世の作り話と断じる。そうでなければ余りにも情けない。句の意味は浪速（秀頼）のことが心配でならなるとも言われる。現に死の床に臨んで彼は5大老を奉行に

秀頼への忠誠の誓紙を求め頼んだという。みつともない。彼自身が信長の子や孫を殺害追放しているのに、元々の家

来でもない有力大名が子山羊の如き4歳の秀頼を生かしておくわけがない。だったら死ぬの年、醍醐の花見の席で家康を強襲でもしておけばと助言したい。尤も現在、鉄筋の大阪城に所蔵されている自筆と言われる辞世は、実は10年前に聚楽第落成時に詠んだとの説もある。どちらにしても不都合な時期に産まれた秀頼の将来が心配なら、大坂の役で家臣・浪人の命と共に餌食にならないように手を打ったのが若い時期の秀吉だっただろう。

しかるに小牧・長久手の敗戦以来家康を敬遠する姿勢は死ぬまで続き、朝鮮の役では家康軍は一兵も参戦させず兵力を温存させた。死の床では手を取って「秀頼のことをお頼み申す」と懇願したとか。側近に家康を暗殺させるべきだった。それが叶わぬなら、筆者は「わしがいなくなれば茶々と大老宇喜多秀家を一緒にさせて豊臣家を継がせる」処置を取っておくべきだったと思考する。

# 千年続く職業

松本明慶工房 京都佛像彫刻家協会会長

大佛師 松本 明観

皆様は自身の菩提寺の佛像名をご存知ですか？佛像の年代や作者等は知るよしも無いと思いますが、その作者はもしかすると私の大先輩かも知れません。なにしろ「佛師」は千年以上も続く職業ですから。(笑)

佛教美術という言葉があるように近年は佛像が美術品として注目されておりますが他の美術品との違いとして絵画や近代彫刻等は「作品」より「作者」が重要な事が多いと思います。「ピカソ展」に人は集まりますが「ピカソが描いた絵」だから観に行こう！となるように思うのです。誤解を恐れずに言うとピカソの絵と同等の絵に差は無



色彩豊かな瑠璃観音像

くても、無名作者にお金を払って行列に並ぶ人は多くないでしょう。ただ佛像の場合には「〇〇寺の佛様が好き」と作者ではなく佛像そのものを讃えます。その魅力は作者不明であっても人々の心をとらえる所が他と異なると私は思います。とはいえ、佛師界も超有名人がいます。教科書にも載っている鎌倉時代の「運慶」です。数年前の「運慶

展」で、その長蛇の列に「運慶さんって、こんなに人気者だった？」と驚きましたが、運慶の実力と功績を知る者として「当然だけどもね！」とも思いました。その運慶よりも

前に「定朝」という平安時代に活躍した佛師がいます。平等院鳳凰堂本尊 阿弥陀如来(国宝)を造佛した人です。運慶も少なからず影響を受けたはずですが現代の佛師も定朝が編み出したとされる技法や様式を受け継ぎ、進化させながら千年以上もの間、先人の教えを守ってきました。私たちの工房では現在40人の弟子が切磋琢磨しておりますが、職人の工房では多くても4〜5人が一般的です。近代で40人規模の工房は松本工房だけです。私で二代目ですが後継者の育成は非常に重要な義務だと考えます。魅力とやり甲斐が有る工房(仕事)でなければいけないと思えますし、昔気質な「技は見えて盗め」「教えてやるんだから薄給は当然」これでは人は育ちません。きちんと家族の生活がまかなえないと仕事に打ち込めません。童話の「ウサギとカメ」で



松本工房社中。前列中央が父明慶氏、その右が筆者明観氏

は有利なウサギの脚力よりもゴールを目指し続けるカメが勝利します。学校で美術の成績が良いとか絵心があると、その才能があっても「佛師になりたい」気持ちが無ければ佛師には向いていません。向いている人とはゴールを目指している人です。弟子の入門時に「想像してるより大変な道のりだぞ。この仕事が大好きじゃないと辛いぞ」とおどかします。それでも決意が変わらない者には「では明日から来なさい」と弟子入りを許可します。こうして入門すると師匠や兄弟子からの

口伝をしっかりと受取り、弟子に受け継いでいきます。それは運慶の時代よりも古くから続いているのです。我々の時代で途切れる訳にはいきません。生意気にも強気な事を言わせてもらえば、昔に比べて何もかも恵まれた時代に生きる我々が先人たちに負けていたら失礼だと思つて日々精進しなければいけないと思つています。先人の残した作品を観て勉強出来るのですから後出しジャンケンみたいなものです。そして本音は未来の人たちが後出しジャンケンでも勝てない作品を残すという野望を持って挑んでいます。

## 京都大原野 松本明慶工房

松本工房は京都市西京区大原野に工房を構え運慶・快慶の流れを汲む「慶派」の継承者として日々佛像彫刻に打ち込んでいます。

松本明慶は息子明観と3人の孫、40人以上の弟子を率いて現代では他に類を見ない10メートルを越える木造大佛から手のひらにのる小さな佛像まで様々な作品を全国各地に納め、佛像の修復等にも力を入れている。

## 逆境は厄を払うチャンス

11年前、東北の災害の時に、その地で生まれた赤ちゃんが20歳になるまで応援をしようと祈りを込めたカレンダーを描き続け、送り続けています。人は生まれながらに試練の重荷を同じように課せ

られて生まれてきていると言います。東北に生まれた赤ちゃんは、生まれながらに災害の地でいきなり試練を受けたことで、人生の重荷を沢山下ろせたはずです。これから先、幸せになっていけると信

じて、応援しています。私事ではありますが、ニューヨークで末の子を産んだ時は、上に2人の幼な子がいたので、ギリギリまで痛みを我慢したため、病室の分娩台に間に合わず、ストレッチャーの上で産みました。3番目なので、産みの不安はありませんでした。駆けつけた先生達も優しく、スムーズにお産は完了しました。産んだ後は赤ちゃんと共に先生方はみな引き上げ、黒人の看護師さん一人

に後のお世話をお願いされました。しかし、黒人の看護師さんはアメリカという地でも自分もまた、人種差別を受けていたのか、有色の他の民族にも自分と同じ

じ厳しい状況を与えてしまったのです。私はその時の黒人の看護師さんに、点滴も自分の手で持って行ってシャワー室に行って体を洗ってこいと言われました。

産んだすぐは歩くたびにすごい出血で、点滴棒につかまって歩き、シャワー室の中では水の音を出しながら座り込んでいました。夜は部屋が満員だからといって私は廊下のストレッチャーの上で寝かせられました。その時は、「私はいいい、私はいいい私の赤ちゃんは大丈夫なのか」とずっと心配でした。入院中の他のアメリカ人とユダヤ人が、翌日の朝方、廊下の私を見つけ、心配してナー

ス室に届けてくれ、私は次の日はちゃんとしたベッドに寝かせてもらえました。赤ちゃんも私のベッドに連れてこれられ、人種を超えての親切に深く感謝しました。

私はむしろ人種差別にあっ

て心が小さくなっていく黒人の看護師さんをとてかわいそうに思っていました。小さい頃から、自分がされたように私にだけだったと思えたからです。神仏様、いい体

験を与えてくださって、ありがとうございました。感謝しました。

その時にいただいた赤ちゃんは私をいつも幸せにしてくれました。その子は今月、コロナの中で出産をしました。第一子の時は付き切りで娘の夫が痛いところを擦ったりして、どんなに心強かったかと思いません。今回はコロナのために一人入院、面会にも行けないことは承知のこと。むしろ入院中、お母さんに会えない2歳の長女の気持ちを想って心配しているようでした。

私は「あなたは逆境に負けずに生まれたのだから、あなたの娘も大丈夫よ」とエールを送りました。

大変な中に訪れることこそ大きな重荷を下ろすチャンスです。娘は、よく寝て、大きな声で泣き、よくおっぱいを飲む赤ちゃんを授かりました。厳しい世の中になっても、きつとご先祖様に守られて、健やかに生き抜いていってくださるようにとおばあちゃんは感謝と守りの絵を描きました。

仏様には説法、守護、救い、導きなど人々を想う瞑想の手が8つあります。これからの世の中を生きていく命に仏様のご加護を、と祈りながら仏様の御手を書いてみました。この絵はニューヨークのカーネギーホールに飾られる予定です



# 渋沢栄一と

## その時代

東京 阿部 敏夫



渋沢栄一は農家の出である。明治維新の時に活躍した志士は大半が下級武士であった。そのため武家社会が崩壊し政治体制が大きく変革したのに革命とは言わない。それでも外国からの日本に対する交渉は多く、自国だけの意志で国土を守ることが困難な時代に突入していた。注目すべきは近代日本経済の父、或いは日本資本主義の生みの親、といわれる成果を農家出身の渋沢栄一が担った点だ。それは日本で最初の合本（株式）

組織「商法会所」を静岡県に作り第一国立銀行をはじめ、約500もの会社や組織を設立したからである。1840年、埼玉県深谷市の血洗島に生まれた栄一は18歳で従妹《ちよ》と結婚する。尾高惇忠の妹だ。7歳の頃から論語をはじめとする漢籍を学ぶのだが、父親の渋沢一郎右衛門も学問好きで、栄一に6歳から読書の手ほどきをしたと言われる。酒田の本間家、越後の渡邊家ほどではないにしても渋沢家は大百姓だった。多くの人が出入りし、智恵や知識も出入りする情報の集散場所でもあったのだ。

殖産興業を強める明治政府は外貨獲得のために西洋型の大規模製糸工場を設立する。設置主任の栄一が主導し尾高惇忠が創立責任者となる。欧米の文化や文明をとり急ぎ普

及せざるを得なかった日本は、国内政治の混乱の中で若い俊秀を外国に派遣する。栄一が徳川慶喜の弟、昭武に随行してパリ万博を経験するのは25歳の時に一橋家の用人、平岡平四郎に見い出され一橋家への仕官がなくなったからだ。いつの時代も人の縁が現実を育てる。

日本の絹織物が世界で珍重され、養蚕や藍玉が染料とし



永代川の隔。邸宅の栄一栄沢渋。橋を東へ、橋詰め近くに

て産地を支えていた時代に奥州羽根の最上川沿いでは紅花が盛んで自然染料として長くその価値を保っていた。それでも大名が領土を誇示するときには何万石と米の産出高で表示するのは米こそが生活の基準であったからだ。日本中の農家はその付加価値の高さを評価して養蚕に励んだのは、私が子どもの頃までである。近隣の農家では競って「お蚕さま」を大事にし、桑の

木が至る所にあつた。くわごと行って子ども達が紅い実をとるのを、とがめる農家はなかったのである。

武州武蔵国（秩父、寄居、練馬、八王子）などで広がった絹織物がその後の政策のせいで危機にあう。とりわけ被害の大きかった埼玉県秩父地方では税金の猶予を願う関係機関に嘆願し規律あるデモ行動を起こす。その数300

0人といわれ今も秩父で密かに語りつがれる事件「秩父困民党」のことは映画にもなった。首謀者の一人、井上伝蔵は北海道に逃れ死ぬ直前に、そのことを告白した。

農家にとって天候による飢餓は避けて通れない。渋沢栄一より少し前1787年に二宮金次郎は相模さがみの国栢山村（神奈川県小田原市栢山）に生まれ、一生を農業の改革農政の改良のために日本全国をとり回る。金次郎と栄一は二人とも寸暇を惜しんで勉学に励んだ。農家出身で一大事業を成し遂げた二人は無類の読書家で、それを実践に

生かしたことだ。金次郎は1856年70歳で没する。栄一はこのとき17歳。

大河ドラマでも放映されたが、栄一が24歳の血気盛りの頃、高崎城乗取りを計画するが尾高長七郎（惇忠の弟）に説得されて中止したことがある。彼の人生の中で最大の危機だった。あとになってみればこの中止が栄一を救ったとも言えよう。もし決行していたら重罪に問われていたはずだから。栄一がいなければ日本の資本主義の誕生もだぶ変わっていたかも知れない。渋沢栄一の業績の中で特筆すべきは、今という社会保障の一部でもある養育院の存続に注力したことである。ともすれば営利事業に傾斜しがちな実業を「道德経済合一説」を唱え論語の精神を重視したことである。彼の活躍は現代に近い近世だから我々は随所に彼の行跡をみることが出来る。高級住宅地の東横線田園調布に降りると駅前栄一が街づくりに取り組んだ記念碑がある。彼が1万円札でお目見えするのは2024年である。1931年92歳で11月11日に永眠。

## 糞害に 憤慨する

野口 文字

朝早く外出する時は賑やかな商店街を避け、静かな住宅街を通って駅に向かう。大型マンション沿いの歩道を歩くと、犬の散歩中の人とすれ違うことが多い。

ある朝、前方からヒールの高いサンダル靴を履き、スマホを見ながら小型犬に引つ張られて歩いてくる若い女とすれ違った。少し歩くと

植え込み近くに排泄したばかり、ホヤホヤの犬の糞を発見。奴らの仕業に違いない。

この道を通るたびに気を付けて見ていると、同じような糞を見かけるようになった。周辺に非常識なペット愛好家が多いのだろう。管理人らしき男性が箒とゴミ袋を持ち、黙々と後始末をしている。その様子を見て怒りがこみ上げてきた。



親しい友人が近くに住んでいる。私と同様、熟年離婚をしていて、10年ほど有名商社の女子社員寮のマンションで管理人をしている。寮生は一流大学卒、バイリンガルどころかマルチリンガルの才女ばかりだという。仕事とはいえ、朝の出勤を見届け、帰宅時間には勞いの声をかける。母親のような役割を担っている。悩み

事の相談に乗ったり、お手製のクッキーを差し入れたりする気さくで優しい性格だ。

「聞いてよー」。彼女

が震える声で電話をかけてきたことがある。早朝、敷地内でペットに用を足させている同年代の女を注意したが謝らない。再度注意すると、「うるさい！この貧乏人！」と怒鳴ったという。人として最低の罵声だ。こんな女は犬に噛まれてしまえ！友の怒りは私の怒りでもある。「マナーを守れないならペットを飼うな」と大声で叫びたい。

## 余録

当誌に長きに渡り寄稿された独舞家にして映画監督の岩名雅記氏が昨年11月11日にノルマンディの自宅で亡くなられた。氏の遺稿集《孤独なからだ》を今号で紹介しました。その出版にはギリシャのお弟子さんたちからの協力もあつたが、その教え子(?)からメールが以下です。【私はマリア・カスタニと申します。岩名雅記先生の生徒であり、またここ数年アテネでの先生のセミナーの主催者でもあります。先生のこれまでの歩み、作品が記載されたタウン誌を送っていただきありがとうございます。一同を代表して御礼申し上げます。先生は今まで以上に私たちの中

に存在しています。偉大な師、芸術家である先生との出会いは光栄であり、大きな喜びです。幸運が叶えた運命です。先生の生きざまや先生の作品は私たちに多くの刺激を与え、私たちの視野を広げてくれました。本当にありがとうございます。心から感謝しております。もしギリシャにいらっしゃることがございましたら、是非お会いしたいと思います。おもてなしの精神で私たちの国を案内させていただきます。一期一会 在アテネ マリア・カスタニ】そして4月に第2信が来たので紹介しておく。【Thank you very much for your message. I am responding in English for I do not know Japanese. The previous message was written by a Japanese

編集後記  
表紙の写真をヨコからタテにしました。日常生活でも「ヨコからタテ」にして見ること必要でしょう。本誌65号もそのようにしてみました。ほろ酔いでヨコになって考え

woman who is no longer in Athens. I feel proud that you respect the ancient Greek culture. For me it was a culture that centered its thoughts on human values. You asked if I have visited ancient Olympia. Yes, I have about 15 years ago. There athletics was admired for virtue of body, mind and spirit together. Even though I do not know Japanese I would very grateful if you could send any photos, pictures of posters, or other information there may be about Masaki. He is a person and teacher much loved so any thing about his life will be respected as if it were sent to us from himself. Maria Kastani】

ると、もう少し変化が欲しいなど感じます。例えば憲法9条の改定賛否について、その議論を載せて読者に考えてもらうというの必要なこと。人生は泣き笑いです。そんなエピソード記事があつても、読者に喜んでもらえるのではと思います。川柳や俳句もい

いですね。生活の中から、この間の政治や経済のカタチを考えたいもんです。また、各記事にアキやイラスト、写真を入れて、「字」の多さを避けたいもんです。誰でもそう言うんですが、文字が先行するんやね。「小誌よ、大志を抱け」を自らに課しながら。

# 戦後の総決算「空襲法案」

## 下町の代議士として

### 超党派で奔走

衆議院議員 柿沢 未途

「柿沢さん、空襲で死んだ私の身内のお墓は空っぽなんです。遺骨のない空っぽのお墓に、せめて遺骨の代わりに入れられるような何かが頂きたい。それだけなんですよ」。全国空襲被害者連絡協議会の星野弘さんが私に語ってくださった言葉です。3月10日の東京大空襲で炎の中を逃げまどい、生命を落とした方々は10万人と言われていま

す。肉親を喪い、心身に障害を負い、身寄りもなく、苦しみの中で焼け野原から生き抜いてきた先達が、わが下町・江東区にはたくさんいます。あの日の夜、あつちに逃げた人は火の海に吞まれて全滅し、こつちに逃げた人は風向きで助かった、火焰がもたらす暴風に吹き飛ばされ、転げるよ

うに炎に吞まれていった、一夜明けると黒焦げの遺体がいずれ高く積まれていたと、街の方々にお聞きしてきました。東京大空襲の殉難物故者の名簿は墨田区・都立横網公園の関東大震災犠牲者を慰霊す



柿沢未途プロフィール

■1971年（昭和46年）1月21日生まれ。江東区立数矢小、麻布中・高、東大法卒。NHK記者（長野五輪担当）、都議2期、2009年から衆院4期連続当選。初当選以来、所属政党の政調会長や幹事長などを歴任。国会質問ナンバーワン議員として知られ、政治団体「新エネルギー運動」代表として、多くのエネルギー政策を提言中。  
【スポーツ】ラグビー、ラクロス、ジョギング  
【趣味】競馬予想（フジテレビ・カルトQでの優勝経験あり）、落語（立川志らく）  
【音楽】レッド・ツェッペリン、岡林信康  
【人物】高杉晋作「面白きこともなき世を面白く」  
【言葉】本来無一物

る東京都慰霊堂の中に保管されていますが、本土空襲の全国被害は、戦後75年の今も国の調査はなく、実態は明らか

かになっていません。

そして、軍人・軍属には戦後に総額60兆円もの恩給を支給しながら、被害に遭った民間人には、何らの措置も講じていません。国が起こした戦争で悲劇に見舞われた人々を放置してきたのです。かつて55年体制の下で野党が救済法案を議員立法で提出したこともありました。が、いずれも廃案となっています。

全国空襲被害者連絡協議会による国家賠償訴訟も退けられました。しかしそこには「複雑かつ高度に政策的な考慮と判断の上に立って行使さ

る国会において判断すべき事項」であると裁判所は述べたのです。

「国会にボールは投げ返された」と私は感じ、超党派の議員立法として空襲被害者の問題を解決しようと、新たな議連設立に奔走しました。東京大空襲の記憶を引き継ぐ下町の代議士として、私を取り組まなければならない課題です。野党側の政治運動と見なされてきた空襲被害者の救済に多くの議員は冷淡でしたが、そこに鳩山邦夫先生（故人）との出会いがありました。「天災である震災や津波の被害者にも国による補償がある。しかるに戦争はまぎれもなく国が起こしたもので、戦災はいわば人災だ。人災である戦災で被害者となった方々に国が何らの措置も講じないのはおかしい」最大与党である自民党から議連会長に就任して頂ける確約を頂いた瞬間でした。

そして平成27年6月、いわゆる安保法制の審議で国会周辺が騒然としていた頃、私は衆院予算委員会安倍総理（当時）に向き合い、冒頭の星野弘さんの言葉を引用し、

空襲被害者の問題を「最後の戦後補償」として提起しました。「超党派による熱心な議論がありますので、まずは立法院において十分な議論を頂いて、行政府も含めてみんなで考えていく」との総理答弁がありました。

その後、鳩山邦夫先生が亡くなられ、議連会長不在で困難に直面しましたが、私が質問に立った際に予算委員長を務めていた河村建夫・元官房長官が新会長をお引受けくださり、ついに議員立法「特定戦災障害者等に対する特別給付金の支給に関する法律案」要綱が完成しました。種々の抵抗の中で「これこそが戦後の総決算だ」とご奮闘頂いております。

議連事務局長として奔走する私は党派を持たない無所属の身ですが、だからこそ党派の垣根を越えて、超党派の議連の活動の要ができると感じています。すべての原点は、下町の代議士であるという私の出自にあります。戦争の惨禍を繰り返させないために、立法院の一員としての責任を果たしてまいりたいと思っています。